

聖徒の道

6

VOL. 10 No. 6



表紙のことば

《はなしょうぶ》

—アヤメ科—

ハナショウブの名はショウブに似て美しい花をつけるということでこの名が起ったものである。6月を代表する季節の花なので新“花ごよみ”にも6月の花として選ばれている。これはまた日本特産の誇るべき花で、いつの頃からこれが観賞用にされたかは明らかでないが、文書に現われたのは約500年前の「仙伝抄」で、当時すでにそのために栽培していたと思われる。6月は万物みな夏の装をする季節である。麦は色づいてくるし、栗の花も白く咲いて甘ったるい匂をただよわせる。金魚売りのすずしい声もそろそろ聞こえてくるころだ。



片隅に菖蒲花咲く門田哉（子規）

聖 徒 の 道				6 月 号				も く じ			
予言者のことば								2			
メモのなかからの小説教											
デビッド・O・マッケイ											
伝道部長メッセージ								4			
アドニー・Y・小松											
質疑応答								6			
ジョセフ・フィルディング・スミス											
系図のページ								8			
神に關することがらはどのようなにしてわれらに知らされるか								10			
証											
ジョセフ・スミス								14			
家族のタテキスト								20			
本部だより								24			
図書案内											



六月は朝霧のこい季節
樹々の緑も深まり
梅の実は黄に熟す

軒端に気早な燕が巣をつくると
田植え歌が梅雨空に威勢よくひびく

やがて白い夏雲が浮び
白いシャツ姿が目立つころ
夏は本格的にやってくる

この旅人見る間に 姿かわり
救い主となり わが前に立ちぬ
「恐るなわがため 恥じずなせしわざ
おぼえらる」と呼びて言いたまいぬ

(讃美歌一四九番)

聖徒の道 10巻6号

1966年 6月1日

メモノのなかからの小説教

デビド・O・マッケイ

○克己心は努力なくしては達せられない。いつの時代においても同様に、今日私たちが必要としていますのは、正しく思い正しく語り正しく行う勇氣のある男性及び女性であります。

○思いは行為の種であつて行為に先行します。単に主の言葉に従うだけで心から望んで応えるのでなければあまり効果がありません。

○若人は幸福になるよう資格づけられております。もし私たちが彼らからそれを奪ったら、私たちは彼らに対し不誠実であります。けれども私たちは幸福と単なる感情的な喜びとの間に、はっきりした区別があることを念頭におくべきであります。

○徳高く正直で又忠実であり、聖くあつて、神の誠命を守る時は、幸福な生涯に導かれます。この道に従う者は陰気くさくなることもなく、装うこともなく、生存の喜びを奪われることもありません。

○コートシップは素晴らしい時期であります。それは神聖なるものでなければなりません。それはあなたが配偶者を選ぶ時であります。あなたの生涯の成功はその選択にかかっております。あなたを最善に靈感する人を祈りを以て選びなさい。

○人の自由意志は進歩の永遠の原則であります。いかなる形態の政府であつても自由意志を奪い、その行使を禁ずる時は悪いのであります。最初の悪魔の計画は

強制であり、これは拒絶されました。なんとなれば、彼は神が人に与えた自由意志を滅そうとしたからであります。もしも人がこの神から与えられた権利を用いて他人の権利を侵害するならば悪を行つたこととなります。自由は勝手な振舞となり、罪を犯す人となります。侵害者を罰し被害者を守ることは国家の機能であります。

○この世の中に私たちが責めてもよい、又は責めるべきものがあります。けれども私たちは、人を憎悪することなく責めることができます。私たちは、自ら拒むことができ又拒むべきもの、キリストが憎んだものを遠ざけるべきであります。

○人は無私の原則に献身する必要があります。人々が彼ら自身のためにのみ生きている時に、この世に平和と自由はもたらされません。

○私は家庭内に、近隣に、団体内に協調をもたらし、国の内に世界の中に平和をもたらすためには先ず各人の心の内から協調と平和の敵である、憎悪、利己心、貪望、怨恨、嫉妬心などを取除くより、よい方法がないことを知っております。

○生活の律法と啓示された神の言葉とは合して、両親の上に、その子供たちに束縛されない出生をもたらし、又信仰と正義を訓練する責任を負わせました。彼らは教えられねばなりません。その子供が八才の時悔改め、生ける神の子キリストの信仰、バプテスマと按手による聖靈の



賜などの教義を教えて理解せしめざれば
罪その両親の頭に留るべし。(教義と聖
約六八・二五)

○人間が野生の動物より上におかれているのは、只霊の賜を持っているからであります。人の生存は彼がその全心を肉体的な本能及び感情の慰安、満足に向けるかあるいは生涯の目的として精神的な向上を目指すかのテストに過ぎません。

○あなたが一人である時に、あなたの良心に恥じないことは、ちょうどあなたの愛する真の友たちと共にいるようなものであります。プライドを持つことは人格を強めます。良心はあなたの心を神のみたまに結びつける環であります。

○心からキリストに従うすべてのの人にとって宗教は単に神との結びつきの感覚を現すだけでなく、正悪に関する行為の感情及び義務感の表現でもあります。純粹の宗教は人を利己的な感覚的な下劣な生活から上に引上げる力を与えます。

○キリストを神の人への啓示として受入れている末日聖徒イエス・キリスト教会はイエスがその生涯と教えに、人の個人的な生活と社会関係の模範を示し、もしこれを完全に個人生活及び社会団体に取り入れるならば単に現在の社会の欠陥を改善できるだけでなく人類に幸福と平和をもたらすであります。

愛する兄弟姉妹のみなさま

アドニー・Y・小松 伝道部長



今日世の中で一攫千金を夢みる多くの賭博者又はゲームでチャンスをねらう人があります。このような方法は私たちの天のお父様のみころではありません。

人生で最もよいものが、ただで得られるでしょうか？ 例えば教会の会員となること、福音に持つあなたの証、幸福な家族、事業又は学業の成功、その他、信頼性、正直、忠実、堅実及び廉直のような価値ある性格？

いいえ、代価を支払わずに価値あるものを得ることはできません。数年前教会で印刷されました。あなた自身に忠実であれ、の計画を御紹介しましょう。

代価を支払わずに価値あるものを得ることはできません。

私たちの食べる食物、着る衣服、住む家、余暇に楽しむため、ドライブする自動車でも、又生活を満足させる、すべてのものは、努力と犠牲によって買わなければなりません。

ある例を見てみましょう。例えば友情

です。あなたは容易に友だちを得るかも知れません。けれどもそれを持続するには何か代価を必要とします。毎日、何か親切なことをしてあげる。思いやりのある手紙か、思い出させる葉書を出す、時機に適した励ましの言葉、不断の関心などがあります。

教育の代価は勉強であります。事業の成功は只勤勉な働らきによってのみ購入できるのであります。すなわち現在の自己否定によって将来に蓄えるのであります。

私たちの才能を展ばすことに於ても同様であります。ピアノの演奏、絵描き、ケーキ焼き、いかなる芸術あるいは熟練に秀でるのも只、努力によってのみできることであります。

肉体的の健康及び知的強さも私たちの実生活、いかなる種類のものをいかに適度に食し、飲むか又はとらないようにするかにかかっております。

約束を守ることによって、友だちの信頼を得ます。

勘定を支払う者は財政的な信用を得ます。

現在及び将来の祝福を約束された教会の会員でさえ、その祝福を、只、願って得られるものではありません。あなたは先ず誠命に従わねばなりません。受けるためには分ち与えねばなりません。これらはもし、あなたが天の祝福及び地上のよいものを得ようとするなら、あなたの

信仰に加えねばならない働らきでありま
す。これらが私たちが現世又は来世の幸
福のために支払わねばならない代価であ
ります。

ですから努力し、分ち与え、奉仕し、
蓄えることであります。これが支払いと
なるのですから支払うことであります。

あなた自身に忠実であれ。

私たちは努力しただけの成果を得るの
であります。そしてすべての価値あるこ
とは、働らく働らきがあるのです。私た
ちは困難な働らきを通して、得たものに
対してのみ感謝できるのです。

福音はどうでしょうか、ただでし
ょうか？ いかにして私たちは救われるか
ということは、永年の質問であります。救
いと昇栄の第一歩は救主がヨハネ伝、三
章五節に言われたバプテスマであります。
よくよくあなたに言うておく。だれで
も、水と霊とから生れなければ、神の国
にはいることはできない。

バプテスマを受けたらそれで充分でし
ょうか？ ニーフアイはニーフアイ第二
書の三十一章十九節から二十二節迄に次
のように告げております。

さて私の愛する兄弟たちよ、私は尋ね
たい。あなたたちはこの真直ぐで狭い道
に入ったら、それで万事終りであるか。
ごらんそうではない。あなたたちがもし
もキリストの言葉によってキリストを確
く信仰し、人を救う大きな能力のある、
キリストの功德に全く頼らなかつたら、

あなたたちは、ここまで進んでくること
さえできなかったのである。

それであるから、あなたたちはこれか
らもキリストを確く信じて疑わず、完全
な希望の光を抱き、神とすべての人々と
愛して強く進まなければならぬ。それ
であるから、この後もたえずキリストの
言葉をよく味わいながら強く進み、終り
まで堪え忍ぶならば「永遠の生命を受け
る」かくのごとく天の御父が言いたもう
た。

さてごらん。私の兄弟たちよ。これが
すなわち道である。このほかには、人を
神の王国に救う道も名も天下にない。こ
れはまことに、キリストの教えであって
永遠に一つの神会を成す天の御父と御子
と聖霊の唯一つの真正な教えである。救
いは、各人の働らきによってもたらされ
るのであっていかなる他人の努力によっ
ても、達成されるものではありません。
マッケイ大管長は次のように申してお
ります。

働らきなくして救いはない。

私たちは単によくならうと願うだけで
よくなることはできません。私たちは、
善を達成するところの原則にそうて働ら
かねばなりません。

兄弟姉妹の皆さん、私たちは日常生活
で於て、ただもうけを期待することのな
いようにしましょう。あなたが福音の原
則に生きる時に主はあなたを祝福される
であります。



肉体的及び靈的律法

解答者 十二使徒会会長

ジョセフ・フィルディング・スミス長老

すべて古きものは過ぎ去り、天地すらも、またその中にあるすべてのものも、すなわち人、獣、空の鳥、海の魚も万物ごとく新しくならん。

教義と聖約二九・二四

質問

友人が私にイムプルブメント・エラの十一月号を渡してくれましたが、私はジョセフ・フィルディング・スミスの、肉体的及び靈的律法に好奇心を起しました。彼は私たちがこの生涯を生きて行く、すべてのことは神の御計画の一部であると述べております。この声明から私たちは神は、この世の中のすべての悪及び災難に対して責任があると理解していいのでしょうか？ 又アレキサンダー、ナポレオン、ヒットラーが犯したような大

殺人を許すことも神の御計画だったのでしょうか？ さらに神はすべての微生物桿状細菌、病毒をつくって人類を苦しめることが、この訓練の生涯に必要なものでしょうか？ これらすべてが永遠の進歩と昇栄に大切なのでしょうか？

誰であっても、アルバート・シュヴァイ

答

この手紙を読んでから、私はトーマス・ブラッケンの書いた「不可解」という題の詩を印象づけられました。その一節は次の通りであります。

「不可解だ、私たちは、はなればなれに動いて

月日と共にその道は拡がって行く
なぜ人生はこのようなのだろうか

ツァーの「原始林の辺境にて」を読んで彼がその病院で証明している恐るべき肉体的病苦を知ったら、もしこの病苦が神の御計画であることを受入れるならば、神は愛の神でなく虐待する鬼であると考へざるを得ないでしょう。

私たちは不思議がる
そして眠りについて行く
不可解だ。

人間が何らの苦病及び災難を受けずに只快樂と喜びを受ける為だけに、この人生に來たのではないことは論の余地ない事実であります。この生涯は永遠の学校教育の一部であります。私たちは他のいかなる方法によっても得られないことを経験するために、ここに來たのであります。その経験は、私たちの知識と理解を増し、私たちをして来るべき永遠の世界に適したものとし、私たちの永遠の父の息子及び娘たちとなれるように準備するのであります。ですから私たちはこの

生涯のすべての憂鬱に服するのであります。もしも失望、苦病、肉体的不快、又は災難がなかったらこの生涯は完成されないでしょう。これらすべての経験は、永遠の訓練の一部をなすものであります。この世に來たいかなる人でも、もし決して、或試練、悲しみ、失望、又は肉体的苦病を受けなかったとしたら彼はその生涯の教育を平均のとれたものとし、彼が福音の祝福と神のみこころに従うことによって神の息子となり、永遠の王国に支配するであろう処の永遠の生命になつたものとするある最も本質的な教義と経験を失うであります。

被造物である人間の大部分が生存中にこの生涯の眞の目的を、学ばなかつたということは事実であります。簡単な真理は、それは神の御計画の本質的な部分であるということであり、この生涯は私たちの永遠の進歩の一段階であり、それは人が神のみこころに従って、神の息子として揚げられ、すべての権能、力及び知恵を得るために決定的に必要なものであります。

私たちは聖書に次の句を読みます。
見よ、わたしは戸の外に立つて、たたいてゐる。だれでもわたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしはその中はいって彼と食を共にし、彼もまたわたしと食を共にするであらう。

勝利を得る者には、わたしと共にわたしの座につかせよう。それはちやうど、

わたしが勝利を得てわたしの父と共にその御座についたのと同様である。

耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。(ヨハネの黙示録三・二〇—二二)

教会の会員たちは贖主の言葉にもっと耳を傾けるべきであります。特に主は私たちが、進んで彼に従い彼の誠命を守ろうとする時に苦しむことのないように、自ら苦しめたことに注目すべきであります。彼は私たちの永遠の贖いのために代価を支払い、彼が私たちに望んでいることは只彼の誠命を守ることであります。

人はどんなに悪くなくても死よりの復活を保証されているのであります。何となれば贖主が彼らが復活して再び生きれるように、その代価を支払われたからであります。復活は丁度墮落と同様に普遍的であります。それは、私たちの救主の言葉に書かれてあります。

見よ、われは神なるに、人もし悔い改むるならばこの苦しみを受けざらんがために、すべての者に代りてこの苦しみをわが身に受けたり。

されど、人もし悔い改めずば誠にわれと同じ苦しみを受けざるべからず。その苦しみたるや、われ神、すなわちすべての中最も大いなる者なりといえども病苦のために身をふるわせ、あらゆる毛の孔より血を湧かせ、身と霊と二つながらを苦しめ、すなわちこの苦さきかずきより

吞まずしてしりこみするも可ならんことを欲したり。

然はあれども、父なる神は贖むべきかな。さればわれはこの苦しみをなめ、人の子らのために準備を為し終りたり。

(教義と聖約一九・一六—一九)

この世に生存するすべての人は、この世の贖主が私たち各人のために非常な苦しみを以て現した偉大なる愛に、深く感謝すべきであります。その苦しみは私たち人類だけでなく地球そのもの及びその中に生存するすべての造られた死滅すべきものの死よりの復活をもたらしたのであります。それは次のように彼自身の言葉を以て予言者、ジョセフ・スミスに示されました。

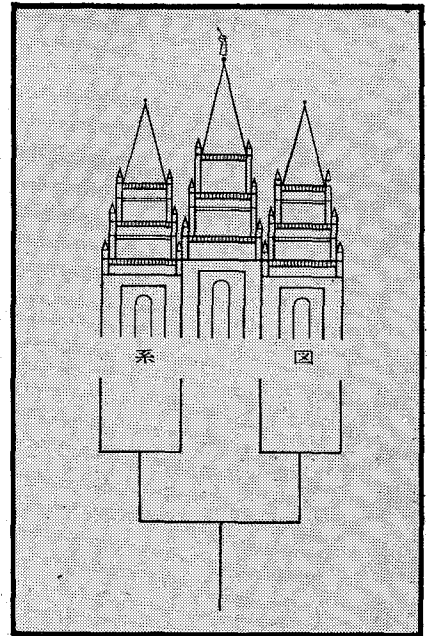
また誠にまことにわれ汝らに告ぐ。この「福千年」過ぎ去りて人々再び彼らの神を拒み始むる時、その後われ僅の間のみ地を助けおくなり。

やがて終末は來り、天地は焼き尽されて過ぎ去り、新しき天と新しき地とあらん。

すべて古きものは過ぎ去り、天地すらも、またその中にあるすべてのものも、すなわち人、獸、空の鳥、海の魚も万物ことごとく新しくならん。

されど一筋の髪の毛、一粒の微塵といえども失われることなからん。それらのものは、皆わが手によりて造られしものなればなり。

教義と聖約二九・二二—二五



系図協会に提出した私たちの家族の記録の写がアーカイブ（文庫）に保存されると赤インキで次のようなスタンプが押されて戻って来ます。これに就て現在系図協会で働いている南条流子姉妹から説明して参りましたから原文（手紙）のまま下に掲載します。

DO NOT MAKE SEALING SHEET FOR THIS FAMILY GROUP

One has already been prepared for you and is on file in Record Archives at 80 North Main Street Salt Lake City, Utah

This sheet will be released upon your request as Soon as baptism and endowment ordinances are completed and recorded.

この印についての質問にお答えします。まず、すべての事について説明しなければなりません。

世界中の会員たちより系図が送られて来ますと、その国々によって、それぞれの人々が、よく調べて疑問があれば、質問を送ったり、いろいろ完全にする様にしてプロセスに廻します。そのプロセスはほんとに複雑で、ここで説明できませんが、とにかくそのシートにのっている名前のすべては、一人づつカードに記入されて保存されます。会員でない、生きている人は又別のカードが別に保存されており、その人々の生年月日からみて、百十年たつと自動的にバプテスマに廻されるようになっていきます。ですから一度、シートをこちらに送り、あと何をしなくても、百十年たてば、バプテスマをうけることができるわけです。そこでシートを提出する重要さが出て来ます。

又このファミリー・グループシートはすべてアーカイブと呼ばれる系図協会の一階にある室に保存されています。このアーカイブは誰でも入って閲覧出来る事になっています。毎日沢山の人が、自分たちの系図を調べるために、来て見えています。一度系図協会に提出された、ファミリー・グループ・シートはこの様に保存されているわけです。ではそのシートの中の誰かが亡くなったとします。又前にバプテスマと、エンダウメントをうけていて、シールしたいとします。する

とこの赤い印のおしてあるシートの中の人でしたら、もう一度シートを作りなおして（書きなおして）系図協会に送る必要はありません。ただ、夫妻の名前とその必要事項（例えば、夫○田△夫は何月何日に死亡したので、バプテスマをうけさせたいとか、第何番目の子供○子と前に儀式のすませてある両親とをシールしたいからとか etc）を手紙に書いて送って下さればそれでよろしいのです。

但し、前に提出したシートの中で、又あとで書きたい事、まちがっていたのでなおしたい事があれば、もう一度正しい新しく見つけたデータにもとずいてシートを作り直し、系図協会に送らなければなりません。

もつとわかりよい様に私の例をとってお答えします。十年位前に私の家族（父を夫としたシート）のシートを系図協会に送り、死んだ母のバプテスマとエンダウメントをしました。父も私たち妹弟も生きていますので、又神殿に全部行く事も不可能ですので、シーリングができずただ私たち生きている者は、カードに記入されて保存されています。私の送りましたシートのオリジナル（私が日本から送った紙）は赤い印がおされて帰って来ました。そしてオリジナルの写しはアーカイブに保存されています。又生きている者（妹、弟）の別のカードは別の所に保存していますので、あとそれぞれの生年月日より百十年たつと、バプテスマを

うけるようになっていきます。ですから妹、弟たちが、この世でバプテスマをうけていなくても、死んで後、受けれるようになっていくわけです。ところが、この一月に私の父が死亡しました。勿論、前にシートを送ってありますので、父の名はカードに保存されて、父の生年月日より百十年たつのをまわっているわけですが、もつと早く、バプテスマをうけさせたいので、受ける事の出来る父の死亡年月日より一年たった来年の一月にバプテスマをうけさせたいとしますと、私はただ系図協会に「夫南城尚夫と妻今崎豊美のシート中の夫南城尚夫のバプテスマをしたいので手続きして欲しい」と手続を書き「死亡年月日、どの神殿で」とか希望を書くわけです。それは私がもう以前にシートを送ってあり保存されているからもう一度作成する必要がありません。又その後、私がソルト・レックにいますので死んだ両親とシールしたいとします。その時もただ手紙でその事を知らせればよいわけです（註、南条姉妹は神殿に入つてこの儀式を受けるわけです）

普通、バプテスマとエンダウメントは特別な指定のない限り、こちらで事務上の手続きを終ると神殿にまわされます。しかしシーリングはその後に、そのシートが、シーリング・デパートメントに廻されて、そこで又シーリングのための手続きがなされて、シーリング・シートが作成されてシーリングがおこなわれま

す。

そしてシーリングが終つたあとそのシートは系図提出者に返されます。それはオリジナルシートが提出者に返されて、六ヶ月位たつてからです。但し神殿に皆で遠い所から行く場合（先年の日本の会員の様に）その時は特別に、どの神殿、又、至急、という印をつけますと、そのシーリング・シートは一諸に神殿（指定された）に廻されて神殿の事務所でシーリング・シートが作成され、短い間にシール出来る様手続きがなされます。ですからこの様な特別な場合は必ずその旨明記しなければなりません。

これまでの説明でわかるように先年、ハワイに行かれ神殿の儀式をうけられた方で又来年ハワイに行かれる方又は、神殿に入る機会がある時は、もう一度シートを作成する必要なく儀式をうける必要のある人に儀式をうけさせる事ができるわけです。前にその事を系図協会に知らせ（何をしてもらいたいかを）こちらで手続きをすぐする事ができます。

書いて説明する事は非常にむずかしい事です、これで少しは系図の事についてわかりなれたらと思います。質問がありましたらすぐ何でもして下さい。出来る限りお答え致します。

系図協会本部 南城洗子



神に関することから どのようにして われわれに 知らされるか



ジョン・A・ウィツソー長老

救い主がこの地上におられた時「人を生かすものは霊であって、肉はなんの役にも立たない。わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、また命である」(ヨハネ伝六・六三)といわれ、また近代になって、予言者ジョセフ・スミスに対しても「見よ、みよ、主は神にして『みたま』は証す。また、この証は真実にして真理は永遠に変わることなし。……主なるわれこの事を語り而して『みたま』これが証をなすなりアーメン」(教義と聖約一・三九、五九・二四)といわれた。そして「みたまは世に来るあらゆる人々に光を与えまた『みたま』はその声を聴く世界のあらゆる人々を照すなり」(教義と聖約八四・四六)といわれている。

使徒パウロは「いったい、人間の思いは、その内にある人間の霊以外に、だれが知っていようか。それと同じように神の思いも、神の御霊以外には、知るものはない。ところが、わたしたちが受けたのは、この世の霊でなく、神からの霊である。それによって、神から賜った恵みを悟るためである」といっている。(コリント前書二・十二)

この深くそして明らかな真理は、福音を理解することのはじまりである。現在多くの家にあるラジオはこの教義を説明するのによい譬(たとえ)である。この世の空間を通じて行なわれる放送には、数多くのニュースがあり、

音楽があり言葉がある。そしてあるものはよいものであり、あるものは悪いものである。我々がこうしたラジオのプログラムに聞いているときには、波が大海の表面をたたくように、音がわれわれの意識にぐい入るのである。しかし、われわれにそれらを受け入るための道具(ラジオ)が用意されていないければ、どのようにしても、それらの音楽や言葉は理解できない。聞くための道具(ラジオ)が用意できると、それは耳をたたく音波となり、われわれが意識しないときに聞えなかった音が、自分の聴力の限界内に入りこんでくるのである。

おなじように、天文学者は空間の遠大さを調べるのに望遠鏡を持たねばならないし、生物学者は微生物の世界を調査するために顕微鏡を用意しなくてはならない。こうしなければ、学者の目的は決して果たされず、進歩しないのである。しかし、もし天文学者が顕微鏡を使って天体を研究し、生物学者が望遠鏡を使って微生物の世界を研究するとしたら、混乱するだけで、よい結果は得られないのである。

これは普遍的な律法である。知識を学ぶ人たちは、真理を探索する人たちは探求すべき分野に関した道具を選び、そしてその研究の方法は探求の必要に適切なものでなければならぬ。このことはわれわれ一人一人にいえること



であって、自分の意識や感覚に援助を与える道具は重要である。と同時に自分の意識感覚がそうした道具が伝えてくるものを、正しく受け入れる状態にしておかなければ、道具は無価値に等しい。目や耳などのすべての意識、感覚器官は観察のために、いつも正しい状態にしておかなくてはならない。そうしなければ、観察は全然意味のないものになり、誤解をもたらすものだけになってしまうのである。

そして、人間自身は受けるばかりでなく、自分の感覚を通じて来るものがないのであるかを解くことも必要である。知的な観察は、肉体的観察と同じように重要なものである。もし知的に解くことができなかったら、知識は雨のごとく降ってきても、種を発芽させるために必要な土壌の上に大理石の屋根があつて、下まで雨がとどかないのと同じことである。したがって、知識を探索するときに、それがなんであるかを理解する適応力が大切なのである。現象の内的な意義は探索された真理を受け入れようとする人に対してのみ啓示される。

霊的な真理を探索する場合も同じことで、科学の力を主とするのでなく、生きている現実の人格が大切な道具となるのである。すべての人たちに接触する聖霊は、霊的真理を探索する人たちに助けを与える。神の「みたま」に

よって与えられる知識を受け入れ、それを解くために、自分自身が道具とならなければならない。個人個人は、もし霊的な真理を受け入れて、それを理解しようとするなら、まず自分自身をそれに合せた状態に置かなくてはならない。端的にいうなら、「神」に関する事柄を理解するために、道具を与えられている人間は、自分から霊的価値あるものになるよう努力をしなければならぬのである。

神が存在するとか、祈りが聞かれるとか、盗むことは悪いことであるという霊的な真理や知識は百科辞典からでも知ることができようが、その人が実際に霊的に自分を準備していなかったら、決してこうした真理を理解することはできないであろう。

十誡や八福の教え（山上の垂訓）を暗誦できる人がその教えを破ったり、宗教的な雰囲気の中で育てられた人が非宗教的な人間になってしまうことがある。それはみな自身に霊的な準備ができていなかったためであろう。このような人たちは霊的な知識は自分から努力しなくても、自分に与えられるものだと思っているのだろう。ごく初歩的な知識でも努力なしでは自分に与えられないのだから、ましてやより高い霊的な知識は努力なくして得られるものではない。――すなわち、これは自然の法律に反することになるのであ

る。これらの人は靈的な焦点をはずれている人であって、焦点のはずれた望遠鏡でははっきりした像が得られないように、その人たちの考えもばやけてはつきりしない。もう一つの表現を使うなら、人生の旋律の美しさを汚すな



どうすべきなのであろうか。この答はつきにあげる近代の輝かしい啓示のなかに明らかに示されている。

されど、神の御業は偉大にして驚嘆すべく、われらに示されたる王国の奥義はその光栄、勢い、支配の及ぶとこ

にものかを持っているのである。これに反して、人が自分を適切な価値あるものとするときには、啓示されるはずの靈的なメッセージがはつきりともたはされるのである。その時こそ、靈的な知識が明確に理解されるときで、靈的な世界と個人的な世界とが結びつき、人生の本当のようこびが現われるのである。そうでなければ、われわれの日日の願いにもなかが欠け、われわれは不完全な生活をしていることになる。

では人は靈に関する事柄を受け入れ理解し、そして靈的なメッセージを受けいれる価値ある道具となるために、

ろ、如何なる智を以てもこれを量り知るべからず。而して、こはまたわれらなお「みたま」に感じつつある間に誌すことなかれと主の命じたまひしものにして、また人がこの事を口にするは法に適わざるものなり。またこれらのことは、人の言葉によりて知らずことを得るものにあらず。こは神を愛し神の前に自らを潔くする人々に神の与えたるもう聖き「みたま」の力によりてのみただこれを見これを悟るべきものなり（教義と聖約七六・一一四―一一六）

これと同じ問題に関し、古代アメリカの予言者モロナイも次のようによく知られた言葉を与えている。

「またこの記録を受ける時、それが真実なものかどうかをキリストの御名によって永遠の父なる神に問え。もし誠心誠意でその上キリストを信じながら問うならば、神は聖靈の力によってこの記録が確かなものであることをあなたたちに示したもうにちがいない」（モロナイ書十・四）

このための手段は簡単である。すなわち、信仰、従順、祈りがそれである。しかし、他のすべてのよき事柄と同様に個人的な努力も必要である。靈的真理の探求者はまず神に対する信仰すなわち神の存在と神と人間との關係を知らなければならぬ。これはすべての知恵のはじまりである。ときどき福音の原則をすべて信ずる事ができない人がいるが、これは大体そういう人たちが神に対する信仰を完全に持たないからである。つきは神の愛が「みたま」に関する事柄を知ろうとする人たちを特徴づけなければならないということである。言葉をかえていえば、自由を得るためのただ一つの道、律法に従うことが要求される。知識だけでは不十分であり、この知識は律法に従順であることによって、生きた知識となるのである。――主の律法に従うことは、われわれ自身を純潔にし、主により近ずき、そしてそれが主の祝福を受けることを可能にするのである。

いつも神に援助を求める祈が必要で

あり、またわれわれが求める知識を得るために神に従う祈りを捧げることが必要である。このような祈りは誠実に真実のものでなければならぬ。「絶えず祈れ。さらば、われ汝にわが「みたま」を注がん。さらば汝の恩恵は、もし汝この世の宝と朽つるものまで得たりとすともそれより大いならん」(教義と聖約十九章三十八節)という御言葉は主の御約束であり、いいかえれば、福音を実践することによって、人は霊的な真理を受けることができるのである。その時こそ霊に関する事柄



の知らされる時であり、そうした状態の下で真理の光明が自己の生活に入り込んでくる。

自分を霊的に価値あるものとするために、この方法に従うことはむづかしいことであろうか。伝えられるメッセージと、それを伝えられる人との間に調和が保たれるときに、すべての人びとの心はよろこびに満たされるのであ

ります。現在ある混乱はこの不調和の欠陥であり不一致がその原因となっている。焦点からはずれた生活は、混乱と暗黒の中に生活するようなものであるが、自己をよく統制し、いやしい欲望をすてて生活することは、光明と全き力をもって生活することである。このような道を困難な道と考える人は、まだこの道を歩むことを試みたことのない人である。福音を実践することは神の「みたま」の与える力を受け、真実の道を歩むことである。

このように神の律法に従う人たちは

間の経験だけでなく、神の靈感を受けた言葉は、あふれるばかりの祝福をわれわれにもたらす。これによって神に関する事柄が知らされ、とうとう神の真理が得られ、そして生活は一変するのである。弱いものは強くなり、力のあるものは強固となる。そして活動のすべての分野は、霊的な真理によって明確に照らし出される。また世のあらゆる人たちは、電流が白熱電燈に通った時のように、光明に充たされるのである。モロナイは真理を探索するすべての人たちのために、次のようなスバラシイメッセージを残している。

「そして聖霊の力によって一切の事の真実があるかどうかがあなたたちに解る」(モロナイ書十・五)

科学者と哲学者、農夫と商人、富者と貧者、すべての人たちは、霊的な国に属する絶えることのない英智に接するなら、いつもその人生探求に大いなる援助を受けるであろう。永遠の富はすべてこうした人たちのものである。

しかし霊的なメッセージを受け入れようとしなない人たちは、人生の意義と行末とを知らず、生活しているこの宇宙の栄光を勝ち得ることができずであるうか。

証

ジョセフ・スミス

私は主の千八百五年十二月の二十三日、ヴァーモント州ウィンゾル郡シャロンの町で生れた。父ジョセフ・スミス(初代)はヴァーモント州を去ってニューヨーク州オンタリオ郡(今のウェイン郡)パルマイラに移ったが、その時私は十才位であった。父がパルマイラに到着してから約四年の内に、父は同じオンタリオ郡内のマンチェスターにその家族と共に引き移った。

私たちがマンチェスターに移ってから二年目のある時、私たちの住んでいた土地に宗教上の非常な騒ぎが起った。この騒ぎはまずメソジスト教徒から始まって、間もなくひろくその地方の全教派に及び、誠に地方全体がそれにとりつかれたようであった。大勢の群衆がこぞっていろいろな宗教的党派に分れ固まりこれらはその人々の間に一方ならぬ騒ぎと仲間割れとを引起して「ここを見よ」と叫ぶ

者もあり、或者はメソジスト派の教義を擁護して論じ、また或者は長老派、浸礼派の教義を擁護して論じた。これらさまざまの信仰に転じた改宗者たちがその改宗に当って言い表した偉大な愛と、またあらゆる人々を改宗させるために、牧師らが好んで言った言葉であるが、あらゆる人々をその好む教派に加はさせるために、この宗教的感情がただ

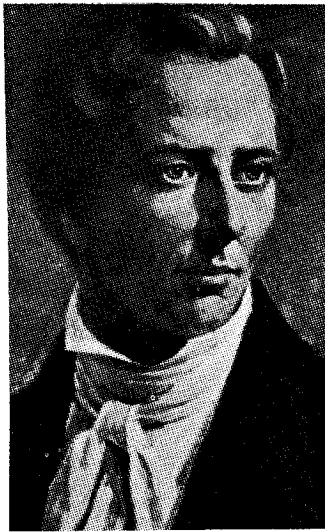
事ではなく興奮した場面を引起し、これを助成するに当って活潑な働きをした各牧師たちの示した偉大な熱心さがあったにも関わらず、しかも改宗者たちの或者は何派、或者は別の派と所属が定まり始めると、牧師たちも改宗者たちも両者の示す表面上の好感情は真実と言うよりはむしろ擬装的と思われた。それはこれに引つづいて、牧師は牧師に向い改宗者は改宗者に向って争論する一大混乱と反感の

場面が起って、その結果すべてお互いの間の好感情は——もしいくらかでもそんなものが最初あったとしても今は全く言葉争いと所信の論争の中に影もなくなくなってしまったからである。

私はこの時満十四才を越えた歳であつたが、父の家族は長老教会派に改宗して、家族のうち四人、すなわち母のルシイ、兄弟のハイラムとサミュエル・ハリスンおよび姉のソフロニヤがこの教会に加入した。

この大騒動の間に、私の心はややメソジスト派に傾き彼らに加わろうとする願望を何度か感じたが、何分いろいろな教派間の混乱と争闘が激しかったから、私のような年もゆかず世情にも長けていない者にとっては、何人が正しく何人が間違っているかなどのしつかりした結論を得ることはとてもできなかった。

私の心は時々ひどくかき乱され、外の叫び声と騒ぎは非常なもので絶え間もなかった。



ジョセフ・スミス

この言葉の争いと信念の動揺の真最中に、私はしばしば自分の胸に問うた「私は何を為すべきか。すべてこれらのものがらの中、何人が正しいか。或いは彼らは共にことごとく間違っているか。もし彼らの中で誰かが正しいとするならば、それは何れであつて、どうして、それがわかるのか」と。

これらの宗教家連中の論争から引き起された極度にむずかしい事情の中で、私が心を苦しめているある日のこと、私は新約聖書ヤコブ書第一章第五節の『あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせず、惜しみなくすべての人に与える神に、願ひ求めるがよい。そうすれば、与えられるであらう』という所を読んでいた。

どの聖句にもまさって、この時ほどこの言葉が私の心に真に力強く迫つて来たことはない。それは私の心の底と言う底を大きな力で貫き通すような気がした。私はこの言葉を再三再四思いめぐらし

て、もし誰か神よりの智慧を必要とするならば、正にそれは私であることを知った。なぜならばこの際私はどうしてよいか知らなかったし、当時私の智慧よりももっと深い智慧が得られなかったなら私

は為すべき方法を知らなかったからである。それと云うのも、種々な教派の宗教教師たちは、聖書の同じ章句をめいめい非常に異つて解釈し、その結果人が聖書に訴えて疑問を決しようとする信頼をことごとくうちこころしていたからである。

とうとう私はこのまま暗黒と混乱の中に止まらねばならぬのか、それともヤコブが指図をする通り神に願わねばならぬのか、どちらかにせねばならぬという結論に達した。私はついに「神に願う」と決心をして、もし神が智慧の欠けた者に智慧を与え、しかも惜しむことなく与めることもないならば、ひとつ神に願つてみようとした。

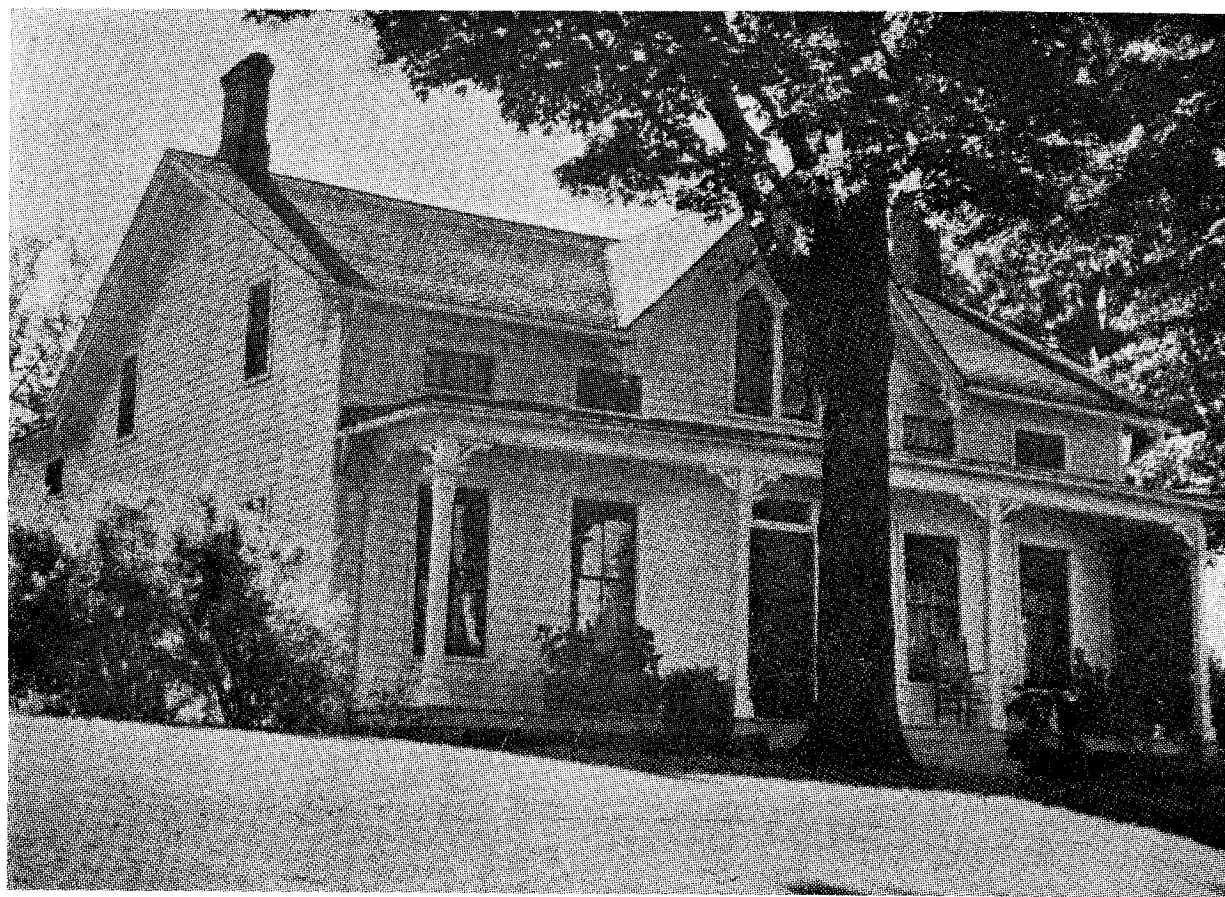
そこで神に願うと言うこの決心に従い、これを実行しようとして私は森の中へ人を避けて入りこんだ。それは千八百二十年の早春、一点の雲もない美しい朝であつた。このような企をしようとしたのは、私の生涯ではじめてであつた。というのは私があれほど苦しんでいる真最中에서도、口に出して神に祈ろうとしたのはまだこれまでになかったからである。

私は、前以て行こうと計画をして置いた場所へ人目を避けて入り込んでから、あたりを見廻して人気がないのを見すますとひざまずいて自分の心の願いを神に祈り始めたが、私が祈りを始めるや否や、直ちに私は何とも知れぬ力によつて捉えられ、ついに私は全く抵抗力を失

つた。またその力は私の舌さえしびれる程の驚くべき力を振つたので私は物言うこともできなかった。そしてあたりはだんだん暗くなり、一時はあたかも私はこのまま急に死んでしまふかのようになつた。

しかし、私は自分を捉えたこの敵の力から何とぞ逃れしめたまえと全力を振りしほつて神を呼び求めたが私が今にも絶望に打ち沈んでわが身を破滅に任せようとしたその瞬間、それは考えただけの滅亡というようなものではなく目に見えぬ世界から来た何ともわからぬ生き者で、全くこれまで私がどんな者に逢つても覚えなかった程の驚くべき強い力を与えた者の力に打ち負けて、わが身を見捨てようとしたその瞬間、この非常な驚きの瞬間である、私は自分の真上に太陽にも増して輝やく一つの光の柱を見た。そしてその光の柱は次第に下りてきて、光はついに私の上にふり注いだ。

その光の柱が現われるや否や、私はわが身を縛つた敵から救ひ出された事に気がついた。そしてその光が私の上に留つた時、私は筆紙に尽し難い輝きと栄光とを有したもう二人の御方が私の真上の空中に立ちたもうのを見た。そしてその中のお一人が私に言葉をかけて私の名を呼びたまひ、他のお一人を指して『こはわが愛子なり、彼に聞け』と仰せられた。私が主に伺おうとした目的は、私が何れに加入すべきかを知るためにすべての



ジョセフ・スミスの生家

教派の中で何れが正しいかを知ることであつた。それで私はわれに返つて言葉が出せるようになるや否や、私の真上で光に包まれて立ちたもう御方に、すべてこれらの教派の中が何れが正しいかをして私は何れに加わるべきかを伺つた。

ところがその御答に『汝はその何れにも加わるべからず、かれらごとく誤れるを以てなり』と言いたもうた。そして私に話しかけたもうたその御方は『彼らの信条はことごとくわが目より見て悪むべきものなり。また彼ら信条を口にする人たちはことごとく腐敗せり。また彼らは唇もてわれに近づけど、その心はわれに遠ざかれり。彼らは人の誠命を教えとして教え神を敬う様をすれども神の力を否む』と宣うた。

このお方は再び私にどの教派にも入つてはならぬと留めたまい、また他に多くの事を真実私に告げたもうたが、この度はそれを誌することができない。私が再びわれに返つた時に気がついて見ると、私は背を下にして横わり、天を仰いでいたのであつた。

この示現を見た約二三日の後、私は前に話した宗教上の騒げの際に非常に活動をしたメソジスト派の一教師とたまたま一しよになつた。そして宗教上の問題に就いて話をしたついでに、私は私が受けたた示現について物語つた。ところが私はこの教師の振舞に非常に驚いた。彼は私が神と交通したことを素気なくあしら

つたのみならず、また非常に輕蔑して言つた。そんなことは全く悪魔の仕わざである。今の時代に示現だの啓示だのというようなことがあるものか、すべてこのようなことは使徒の時代で終つてゐる。もうこれから決してそのようなことがあつたものかと。

しかし、それから間もなく私がこの話を語つたことが、宗教を口にする者たちの間に私に対する大きな反感を引き起し、そしてこれがひどい迫害の原因であつたことを私は悟つた。そしてこの迫害はますます甚しくなつて行つた。私は一介の名もない少年であつた。たった満十四才を越えた年齢の少年でしかも生活状態から言つても何ら世間で取るに足らぬ程の者であつたけれども、歴々の方々は私に反対して世上人心を刺戟し、甚しい迫害を引き起すほど私のことをわざわざ氣にかけられた。しかも、これはすべての教派間に共通したことであつた。すなわち全部の教派が連合して私を迫害したのである。

満十四才を少し超えたような一介の少年であり、またその日の労働でようやく生計を得て行かねばならぬ運命におかれた一少年の私が、当時最も評判の教派に属する偉い方々の目を惹くほどの、また言わば、最もひどい迫害と悪口雑言をあげせようとする精神を彼らの心中に引き起すほどの重要な人物と思われようとはいかにも不思議である、ということとは当

時私を本気に深く考えさせまたそれ以来しばしば深く考えていることである。しかし不思議であろうがなからうが事実は迫害と悪口雑言であつた。そしてこのことは度々私自身にとって非常な悲しみの種となつた。

しかしながら、これにも関らず私がさきに示現を受けたことは事実である。あの時以来私は、パウロがアグリッパ王の面前に於て弁明し、彼が先に光を見声を聞いた示現の顛末を語つた際、なお彼の言を信じた者がほとんどなく、ある者はかれは偽りを語ると言い、他の者は狂え

りと言つた、そして彼が嘲り笑われ悪口雑言を受けたその時と自分は大へん似た心境であつたと思つてゐる。しかしながらすべてこれらの反対も、パウロが示現を得たと言ふ現実を打ち破らなかつた。

パウロは、先に示現を受けた。彼はこれを受けたと言ふ事実を身を以て知つた。そして天下のあらゆる迫害もこれを変へることができなかつた。人がかれを死ぬまで迫害しようとも彼は知つてゐた。彼は最後の一息まで、彼が光を見、彼に呼びかける声を聞いたこの二つの事実を知つてゐるであらう。事実、全世界も彼の

考えを変へ信するところを変へさせることはできなかった。

私も正にその通りであつた。私は実際に光を見た。その光の唯中に二人の御方を見た。そしてその方々は眞実私にお言葉をかけたもうた。私が示現を受けたと言ふために憎まれた迫害せられても、なおそれは眞実である。そして私がこのように言うために、人々が私を迫害し罵り偽つてあらゆる悪口をあびせてゐる間に、私は自分の胸の中で語るようになって。「何故眞実のことを話すから私を迫害するのか。私は本当に示現を受けたの

だ、私がどうして神に抗えようか。何故世の中の人は、私が本当に見たものを見ないと言わせようと思ふのか。私は示現を受けたのであるからそれが眞実であるのを身を以て知つてゐる。私は神がそれを知りたもうことを知つてゐる。私はそれを打ち消すことはできなかった。また敢て打ち消そうとしなかつた。私は少くとも、本当にあつたことを打ち消すならば神の怒りを受けて罪の宣告を受けることを知つてゐる」。

Sei to Gop Mitsunobu

■ 聖徒の道と法律

— その1 —



「聖徒の道」は教会の会員と求道者を対象して発行する内わのものですけれども、何千部と発行されれば、いろいろなつながらりて、一般社会の陽の眼をみることもあり、当然一般の出版物と同様に、いろいろの法律的制約をうけることになります。著作権については無論のことですが、もっと広い社会常識にも反していないように注意したいものです。

△A 著作権

(1) 日本の著作権法には、文章、演述、図書、建築、彫刻、模型、写真、演奏歌唱、その他文芸、学術、美術の範囲に属する著作物に対して、著作者

聖徒の道は あなたの ものです

●昔、モルモンの開拓者たちが歩いた長い長い道中は、電話も電報もそして新聞も雑誌もなかったであろう。そのなかで指導者はコミュニケーションの問題をどう解決したであろうか……。信仰の力を思い知らされる気持である。——「聖徒の道」はその機会を与えていくのに……。

の死後三〇年までの保護を与えられている。

(2)そして、そのオリジナルの著作の他に、例えば写真による美術作品の複製やグラビヤ、コロタイプ、原色版などの印刷技術によって、美術作品を複製された場合などにも、それが原著作者の許諾を得て、適法に製作されたものであれば、新たに著作権が認められている。

(3)しかし、外国人の著作については、条約関係に従って、取扱いが別になる。

(4)著作権をもつ他人の著作物を使用するにあたっては、普通著作者の許諾を得なければならぬ。

(5)そして、使用料、つまり原稿料や印税などを支払わなければならない。

(6)著作権の使用許諾をえないでその著作物を使用したり、原稿料を支払わないでその書物を発行すれば、著作権侵害になるわけである。

(7)しかし、次のようなものは自由使用の著作物として許諾の手続を必要としないことになっている。

(a) 法律命令及び官公文書

(b) 新聞または雑誌に掲載した雑報および時報を報道する記事

(c) 公開する裁判所、議会ならびに政談集会でなされた演述

■あなたが原稿を書くときのために

— その2 —

●カッコ（パーレン）

印刷工場では「パーレン」と呼称していて、きつと原語である parentheses を日本語的に略したのであらうと思われまふ。文章の途中でその流れを中止して語句をはさむ場合に用いるものです。

例

・注を加えるとき

和田兄弟（支部長）は聖さん

例

会でメッセージをのべた。
・省略を示すとき

「明（か）るい」は、公用文で省略すること。
この用例のほかに、注記に準じた用い方や項目序列の序数にも使われているようです。

例

- (一) 見られること（注意）
- (二) 読まれること（興味）
- (三) 信じこませること（確信）
- (四) 覚えさせること（記憶）

先月号では、文章の息使いともいふべき「てん」と「まる」についてのべましたが、その後「聖徒の道」になぜこんな変な原稿がのるかとか、原稿を書くときに大いに役立つとか、賛否ともにその意見がありました。内容が高めるためには、その原稿を読みやすく（正確に読む）のも大切なこと。そこで今月も原稿を書くときに必要な二・三のことについて稿を進めます。

小説ではカギカッコを会話に用いるのと対照的に、心の中であっている部分を（ ）で包む書き方もあり、またニュアンスを表わすために用いることもあ

ります。証詞など多分に感情的なものを表現するとき用いるとよい効果があらわれまふ。

石川啄木は短歌に試みています。

かなしきは

（われもしかりき）

叱れども、打てども泣かぬ
児の心なる

●カギカッコ・カギ

「国語の書き表わし方」の説明によれば「直接活法に用いる」「語句を引用するのに用いる」「特に注意をうながす諸問に用いる」とあります。

・直接活法で用いるとき
会話文の書き方で注意したいのは、次のような場合です。

例

「それでいいんだね」——(イ)
とAは静かにいった。
「なにしろ、もう過ぎざったことだからね」——(ロ)

「そろそろ帰ろうか。だいぶ暗くなってきた」——(ハ)
と、Bは立ちあがった。
会話を他の文で中絶してから続けるときは、やはり、英語式

に続けるのが判りやすいようである。この例文のように行をかえると(ロ)はどちらが言ったのか判断しにくくなります。(イ)(ロ)を読んでからやっ(ハ)は(イ)に続けてAがいったのだと判ります。

「それでいいんだね」と、Aは静かに言った。「なにしろ、もう過ぎざったことだからね」

「そろそろ帰ろうか。だいぶ暗くなってきた」とBは立ちあがった。

これではじめて執筆者の表現がはっきりします。

●ツナギ・ツナギテン

外国の人名や地名が二語以上に分かれるときは、その間に用いるようにします。

例

ジョセフ・スミス
デビッド・O・マッケイ

ただし「ソルト・レイク」だけは「聖徒の道」の場合すでに一語にして適用する名前と考え、
「ソルトレイク」と一語にしています。

ごきげんがごきげん

●さて、この世に原稿書きはどイヤなものはない、とそうオッサンがたくさんいらつしやる。それを本職にしてメシのタネにしているプロ作家ならいざ知らず、原稿用紙の使い方もよく知らないアマチュアならあたり前のことかもネ。しかしアマチュアならアマチュアらしい「参加スルトニ意義アリ」の根性があつていいはずである……と考えたくなる。

第 八 課 (つづき)
第 九 課

私たちの天父は私たちを愛し
私たちの福祉について心配しております

(第八課 つづき)

「討論」

父親をしてこの六週間もの不屈の看護をさせた動機は何でしょうか？ 家族をして討論させなさい。家族の中に子供が居たらお母さんは

「あなたたちのお父さんはあなたたちに何をしましたか？」とたずねて、子供たちが皆答えてから母親はそれをまとめてそれに彼女が夫に就て真実に感じていることを付け加えるところでしょう。次のようなことが含まれるでしょう。彼は骨の折れる疲れる仕事であるにもかかわらず毎日私たちのために働らいてくれます。彼は私たちのために、食物、衣類、家具、家などを備えてくれます。彼は貴方の勉強を見てくれ、貴方を旅行や、ハイキングにつれて行き、面白い出来ごとを話し、物語りを読んでくれ、貴方とゲームをして遊んでくれ、貴方に責任をとりよく働らくように教えてくれます。これらすべての方法に於て彼は貴方に対する彼の愛を示します。

子供の居ない家庭に在っては成人たちは彼らの両親の彼らに対する愛を思い出すことが出来

るでしょう。

若しも貴方の家族が上述の討論不可能の状態にあるなら、母親は子供たちに彼女の愛が如何に天父の愛の型を表現しているか観察させなさい。

「この世の父親の愛と天父の愛との比較」

家族の者たちに彼らの天父の愛を深く実感させる為、父親は彼自身の言葉を以て彼が如何に家族の者に対して感じているかを告げることが出来ます。そこで彼は自分が如何に子供たち一人々々を愛しているか知っているので天父が私たち一人々々を愛して居ることを理解出来る」と説明することが出来ます。母親も同様に家族に対する愛を表現すべきであります。

「聖文は私たちの天父は私たちを愛していると教えて居ります」

貴方が若しも時間前に該当章にしをりをはさみ、関係聖句にチェックするかアンダラインをしておけば、よりスムーズに聖文を読むことが出来ます。家族の内、新約聖書を読める者として聖書を持っている者は皆ヨハネ伝三章十六節を開きます。読む前に次のようにたずねなさい。

い。助けを必要としている或人々を助けるために私たちの家族の中から或子供を遣わしたのに、彼らは彼に感謝しないばかりでなく、彼を馬鹿にして殺してしまつたら私たち家族の者はどのように感じるでしようか？

これが私たちの天父が為したことで今から読む聖句は何故彼がそうしたかを告げて居ります。皆で一緒に読むか又は一人が声を出して読んで他の者は自分の聖書で黙読します。神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで永遠の命を得るためである。(ヨハネ伝三・一六)

何故天父はその息子を送りましたか？ これに答えている聖句の一部を読みなさい。ここで讀みの討論をしないようにしなさい。それは後です。ここで。ここでは天父が私たちを如何に愛していたかと言う真理を全面的に強調しなさい。天父は如何にその息子を愛して居られたか、しかも彼が殺されることを知っていた事実を明らかにしなさい。天父はその息子を送ら

ねばならなかったと言うわけではないのですが彼は私たちを愛し私たちを助けようとされたわけでありました。

貴方の家族はこれと同様の思想を異った言葉で言い表わしているヨハネ一書の四章九節及十節をも読むことが出来ます。貴方は親として先に読んで決めなさい。

家族の者たちにヨハネ一書四章を開かせ十六節の先の句を読ませなさい。これらの言葉を読む前にこれらの言葉はイエスに近い友であった使徒によって語られたものであることに注目させるように述べなさい。

「わたしたちは、神がわたしたちに対して持つて居られる愛を知り、かつ信じている。」(ヨハネ一書四・一六)

貴方はヨハネがどうして天父が彼に対して持つていた愛を知り且つ信じていたと思いますか？ 天父にとっては私たちの外観がどうであろうと、高かろうが低かろうが若かろうが老いていようが富んでいようが貧しかろうが、少しの才能しかなくとも或は又多くの才能を持つていようが問題でないのです。彼は依然として私たちを愛してい

るのです。彼は病氣及び死が私共にもたらされる時私たちを愛します。(この後の二つの考えに就ては次のレッスンに於てもっと話すでしょう)子供たちに丁度貴方が彼らがどんな姿をしていようが愛すると同様に天父も私たちを愛されると告げなさい。貴方がこの世で知っている最も愛の強い人を考え、そして天父は彼よりもっと強い愛を持つて居られることを覚らせるように努めなさい。

「家族の参加」

貴方が天父が貴方を愛しているのを知って居られることを敬虔の念を以て話し、天父が私たち一人々々を愛して居ると言うことが実感を伴うように努めなさい。各人をして天父が自分を愛していることのわかる証拠を順番に述べさせなさい。家族の者たちに慎重に只、心からそう感じることを述べするように奨めなさい。貴方の家族は次のような事を挙げようとするかも知れませんが、天父が私たちのために造ってくれた秩序ある美しい世界、両親、友だち、回復された福音、仕事及び導き、

「私たちに對する天父の愛を知るために私たちは何を為すこと

が出来たらうか」

天父の私たちに對する愛を理解するのはむづかしいことではありません。それを完全に自覚する迄には数千年、一生涯かかるものであります。次の聖句は私たちがこの理解にどのように成長して行くかを示して居ります。家族をして再びヨハネ一書四章を開かせ七節八節を読ませなさい。

「愛する者たちよ。わたしたちは互に愛し合おうではないか。

愛は神から出たものなのである。すべて愛する者は、神から生れた者であつて、神を知っている。」

「愛さない者は、神を知らない。」(ヨハネ一書四・七、八)

「愛する者たちよ」というのはこの場合、愛する友よ、と言う意味であります。これはヨハネが人々に書く時に呼びかけた言葉です。七節は私たちがどのようしたら天父を知ることが出来ると言つて居りますか？(互に愛し合う)八節には同じ考えが他の方法を以て述べられてあります。もう一度読んでごらん

なさい。誰かをして自分の言葉で八節を言わせなさい。(若しも私たちは愛さなかったら私

ちの天父を知ることとは出来ない)これは揭示祈にかけて家族の者に暗記させるによい聖句であります。私たちの天父を知ることの一つは彼の愛を理解することでありました。

「神は愛なり」と云う言葉は何を意味していますか？(それは愛は天父の主な性格であることを意味しています)真に天父を知り彼の私たちに對する愛を理解するためには私たちは非利己的な愛を實行せねばなりません。貴方はジュリーの父親が子供のために、あのように尽した後で、よりよく天父の愛を理解したと思いますか？ 貴方は私たちが家族の者たちが天父の愛を、よりよく理解するために、まだ何をしたらよいと思ひますか？

「家族が無私の愛を表現出来る方法」

下記は貴方の家族の者たちがお互の愛を表現出来る方法を考えるのを助けるかも知れませんが、これは人々が自己からぬけ出して、その愛を示す實際の方法であります。

一、アンヌは学校及び教会の活動で忙しい十六才の少女でありました。復活祭が近づいて

来ました。いつも彼女のお母さんは復活祭には彼女に新しい洋服をつくつてくれるのでした。けれども今年は数週間前に赤ちゃんが生れたばかりでした。それに三人のまだ小さな子供たちの世話もせねばならなかったのです。アンヌは学校でミシンがかけられるので自分で洋服をぬえるかも知れないと思ひました。彼女はそう考えた時に、弟たちも新しいものを望んでいることに気がつきました。彼女はそれ

もすべてお母さんが出来ないことを知つて居りました。彼女は自分の洋服は今迄の間に合わせて、時間をかけて、二人の弟たちのためにシャツをつくつてやることに決めました。シャツはよく出来て二人の弟とお母さんと三人の者が彼女の無私の愛によつて、よい思ひをしたのでありました。

二、ラリーは九才でありました。彼は二人の弟を持つて居りました。一人は二才で他の一人は三才でした。彼らはまだ自分で玩具を片付けることを学んで居りませんでした。或夕方ラリーはもう暗くなる

頃帰って来て一寸の間模型飛行機を造ろうとして自分の部屋に行こうとしました。彼は

お母さんが忙しそうに夕食の用意をして居り、玩具が散らばって居るのを見ました。彼はかがんで弟たちにささやきました。そして三人は玩具を片付ける競争をしました。玩具がみんな片付いた時、彼は弟たちの手や顔を洗うのを手伝って食事につきました。お母さんは喜んで疲れも忘れ、ラリーの思いやりで皆が楽しい夕食をいただくことが出来ました。

「私たちの家族は、お互に愛を示し合うでしょう」

レッスンのすべてを通じて貴方は家族の者たちにお互に愛を示し合うことによって、天父に対する感謝の気持を持たせて来ました。この新しい任務は、実際にはお互に慈悲と親切さを示すと云う先週の努力の経緯で新しい刺戟によって行うものであります。貴方自身をも含めて各人に次の質問に答えさせることによって興味を起させることであります。家族として私たちはお互に愛を示すために何が出来るでしようか？

来るでしようか？

各人に具体的に家族の者に愛を示す方法を考えさせる為に貴方は用紙を一枚づつ手渡すようにします。各人はその用紙の上にお父さんと記入します。(両親及び年長の子供たちは小さい子に手伝ってあげます)そこで各人は今週中彼が父親に対し、その愛を示せると思う或特別な事を考えます。そして彼は独自の方法でそれを記入します。次には母親のために同様の手続きで用紙をつくります。次の名は家族の内の最年長の子供であります。これは家族の者、一人々々全部続けます。赤ちゃんも忘れてはいけません。

両親は真剣に貴方自身の用紙に貴方が一人々々に貴方の愛を示すために出来ることを記入することによって子供たちを励ますことが出来ます。貴方は、おう私はどのようにお父さん(お母さん)愛を示したらよいか知っています。とか、私はメリーにしてあげれるほんとうにいいことを書いてあるんです。などと言って説明してあげるとよろしい。

勿論誰も自分自身の名を彼の用紙に記入しません。各人は今

週中この用紙に記入した事を導きとして用いますが、これに制限されるわけではありません。その目的は各人が家族の者たち一人々々に対して彼独自の方法で学び何にその愛を示せるか考え始めたかどうかと云うことです。あります。最もよい経験は、ラリーの例に見られるように丁度適当した状態が提供する自発的に示す愛の現れであります。

貴方の子供さんたちはこの割当てに際してお父さんお母さんのやさしい導きを必要とします。一人々々の子供と、たった二人だけで、お父さんと一人の子と、又はお母さんと一人の子と心と心をつき合せて話すことが非常によい助けとなるでしょう。

貴方が貴方の子供さんたちに与えられる最もよい助けの一つは貴方たちがお互に示す愛の模範であります。子供の居ない夫婦は、お互にお互のために愛を示すことの出来る方法を記入します。彼らは日常のこと以外にいろいろ異った方法を考えるべきで、そこで喜びが伴うのであります。彼らは又家庭外の人を一人か、それ以上選んで、今週中彼らに、その愛及び親切を示す

方法を考えることが出来ます。これは独身者でもこの任務を遂行出来る方法であります。

「閉会に当って」

お祈りの前に讃美歌三十九番家庭の中にを歌います。家族の内誰か心から祈りたいと感じている人に、天父の愛に感謝し彼のような愛ある者となるように助けて下さるようにお祈り下さい。

「父親へのメッセージ」

貴方が子供に、貴方の天父が彼を愛していることを確信させる一つの事実は、貴方が父親として彼に示すことの出来る愛であります。若しも彼がこの世の父親が深くしつかりと彼を愛してくるのを感じたら彼はもっと容易に天父に対する彼の愛を自覚出来るでしょう。その子供たちを愛している多くの父親たちが、このことをなかなか子供たちに通じさせることが出来ずに居ります。若しもその愛が只父親の心の中に留って子供が父親が彼を愛していることを自覚出来なかったら彼は助けられていないのであります。ほんとうにその子供たちを愛している多くの父親が子供たちが父親たちが彼らを愛していないと思っ

ているのを知って驚いているのであります。父親たちはその子供たちを模範的に保ち彼らに慈悲と愛を示す必要があります。これが私たちの天父の為すことであります。

「母親へ」

若しも家庭の状態が父親の愛を子供たちに経験させることが不可能な場合は、母親がその愛を子供たちに示すことによって天父の愛を子供たちに知らせることが出来ます。

第九課

私たちの天父は正しい方です。

「目標」

貴方の家族の者たちに私たちの天父は正しく立派なお方ですから頼ることが出来ることを教える。

このレッスンは神の義に在っては、神の律法に従う結果は祝福と幸福となり、不従順の結果は不幸となることを強調して居ります。私たちの天父は両親にその子供たちに、どのように彼の律法に従うべきかを教えるように委任されました。

「レッスンを教えるための背景」

貴方自身の家族の必要を考慮して、このレッスンからその必要に適した考え又は手続きを選ばなさい。

積極的な行爲をしなくても、単に最後迄堪え忍べば永遠の生命の祝福が保証されると思われ易い。教会の中の多くの人が若しよい理由があるなら、神の律法に完全に従わなくても神は彼らを義とするであろうと感じて居ります。教会の教えてこれらの観点を支持しているものは一つもあません。

永遠の律法には私たちが厳しい面と呼ぶものがありますがこれは屢々認められて居りません。私たちは宗教的概念の楽な面を強調しがちであります。それらは愛、赦し、慈悲、兄弟愛を含んで居ります。多くの人がこれ以外に福音の中には何も無いと信じていますけれども不従順の罰として、懲らしめ、永遠の罰、霊的死、苦しみなどの氣持のよくない言葉を避けることは出来ません。

「祈り」

レッスンのために家族の中で代る代る違った人がお祈りする

のがよい。彼らが形式的な死んだ祈りに流れないようにさせなさい。幼い児がお祈りする時にはレッスンの始まる前によく話する方がよいでしょう。彼がどんなことを思っているか話させてそれを祈りに入れるように導きなさい。貴方は新しいレッスンはどんなレッスンか又それを教えるには如何に天父の助けを必要としているかを告げるというでしょう。

「お互に愛を示し合うとする家族の者たちの努力の評価」

若しもこの一週間にお互に愛を示し合う経験がお互の間に暖い身近かな氣持をもたらしたならば貴方の喜びと感謝の氣持及び愛を現しなさい。若しも貴方がそれに失敗したのであったら卒直に認めてこれからお互に愛を示し合うように励まし合いなさい。貴方に対する天父の愛をより大きく感じた経験がありますか？ に就て討論しなさい。

「レッスン」

正、及び、義の意味に就て討論しなさい。

家族の者たちに、天父の義及びそれが私たちの生活にどのような効果を及ぼすかに就ては新しいレッスンでもっと学ぶでし

ようと告げなさい。

先ず言葉の意味に就て討論しなさい。家族の者たちに義の意味に就て述べさせなさい。(公平なこと。偏見のないこと) 私たちが神の義と云う時は彼の何に就て語っているのでしょうか？

正と義とは同じ言葉の二つの型であります。私たちが私たちの天父は正しいと言う時は彼の何に就て語っているのでしょうか？ (彼は公平で、一人を他の者より好意的に取扱うことなく、彼はすべての人の心を見る事が出来、如何なる彼の子供に對しても偏見を持ちません) 私たちにとって、天父が正しい方であるということを知ることとは何故大切なのですか？ に就て討論しなさい。

このレッスンの時に私たちの天父が正しいお方であると云うことを知ることが私たちの家庭にどのような効果を及ぼすか考えて見ましよう。

「義は私たちに困難なことを要求するかも知れません」

家族の者に次の話を聞いてサウンドラのお父さんは正しいかどうかのように判断するかたずねなさい。見方によってはこの

話は私たちに天父の義を理解させるのを助けます。

「話」

父は最もよく知っている。

或日サウンドラは学校から家に帰って来るとお母さんの傍につきまとい居りました。彼女はお母さんにその日自分に起った事を告げねばならないことを知って居りましたが恥ずかしくて話すことは出来ませんでした。お母さんが何か具合でも悪かったのかと、たずねると彼女は頭をふりました。

サウンドラは夕食の時あまり食べることは出来ませんでした。彼らが食べている時に電話が鳴りました。彼女はそれは学校の先生のミス・ハードリからであることを知って居りました。彼女はミス・ハードリが今日数学の時間に彼女がごまかしているのを見つけたので或問題を出して見たら、今迄ずっと数学がわからないのに賢明にも友だちのを写していたことを発見したことをお父さんに告げていることを知って居りました。

サウンドラはそれは数学が彼女にとってむずかしくレーニーから写すことは非常に容易であることから始まったことを知って

いました。彼女は自分のしていることを憎んではいましたが他にどうしようもなかったのです。

ここで話を中断して家族の者に次の討論をさせなさい。サウンドラのお父さんはその状況を知りましたが貴方は彼がこれに對し如何なる処理を取るべきだと思いますか。これに対する貴方の子供さんたちの反応は彼らが道德的に模範的であることを望んで居り、両親に彼らが正しい事を行うように充分に注意してもらいたいと言うかも知れません。話を続けなさい。

サウンドラは先生がお父さんに電話している時にお父さんの顔を見ることが出来ませんでした。彼女は彼が非常に狼狽したに相違ないと思いました。彼は受話器をかけると母親を呼んで何か話しました。それからサウンドラに彼と共に彼女の部屋に来るように合図しました。彼らだけになった時、彼は言いました。

(つづく)

伝道本部だより 一九六六年三月

バプテスマおめでとう
ございます

阿倍野 ヤマモト オサム
ナカモト ゴイチ
広島 コウウチ ヒロコ
京都 ツクダ ヨシユキ
カクマ マチコ
那覇 マタヨシ テツオ
ウラサカ チヨウコ
新潟 カワシマ アヤコ
ヨシダ リョウコ
シマサキ タチシゲ
ホリハタ ジュンコ
コシバ キミコ
小樽 ヨシダ ユキオ
ヤキ トシヒデ
三宮 タダ アヤコ
ヒグチ タクマ
ヨネザワ ユウコ
アカオ ヒサイチ
イナガキ キミ

東京東 オタマ タカユキ
東京北 ナカザワ ユミ
サト アヤコ
ヤスイ ヨシコ
東京南 タムラ ノブコ
東京西 ヨシカワ チグサ
イソウチ テルオ
トヨタ クニコ
キシ ヨコ
アラキ ユリコ
山形 シダ マサル
サイトウ シンイチ
神権鼻進おめでとう
ございます

ウナコシ マサヒロ(教)
タイトウ ショウジ(執)
ツダタニ ヨシアキ(執)
ナカオ キヨシ(執)
金沢 ハナザワ ヨシユキ(執)
タマヤ アキオ(執)
甲府 サカモト キミハル(教)
松本 スガノ マサユキ(教)
名古屋 フクヤマ テルオ(教)
チギ ナオユキ(教)
カジマ コタロ(教)
ミズノ ヒロオ(執)
那覇 ミヤハマ ヨシヤス(長)
岡山 マツモト ヨシキ(執)
三の宮 キムラ ヨイチ(執)
イエコ ヒデオ(祭)
カワバタ マサオ(祭)
仙台 フナヤマ シゲノリ(長)
東京中央 サカイ ノリトモ(祭)
サイト カズエ(執)
ホンジョ エツヒサ(執)

東京東 イシカワ ヤスオ(長)
イワナガ マサハル(長)
タカガワ シゲル(長)
タキグチ ミノル(長)
フジサキ カンジ(執)
マヤグチ カズオ(執)
カナイ アキオ(教)
東京北 オリモト カズノリ(教)
サト ヒロエ(長)
ヨロズ ヒロユキ(長)
東京南 カンダ ヤスオ(長)
東京西 シイチ タケマサ(執)
ツジモト ヤスアキ(執)
オズキ オサム(長)
サクライ マサヒコ(長)
サクライ ミツユキ(長)
ワタナベ カツジロ(長)
山形 スズケ ショウスケ(執)
コビアシ ヨシアキ(執)
イオ コジ(執)
横浜 ヒロセ ノブユキ(執)
アサマ ゲンヤ(長)
マルマツ テルヒサ(長)
ニシカワ ジュンイチロ(執)

編集後記

■教会をよく知らない人から、ときどき私たちではわからない質問をされる場合があります。その場合その人の思い違いで誰が伺ってもわからない場合もありましようが、なかには応対に出た人は知らないが、他の人なら知っているという場合もありましよう。
たとえば、
「表の看板に子供日曜学校とありますがいくつからいくつまでの子供の学校ですか」
この問いに答えられる方が何人いますか。もちろん日曜学校の責任者はよく知っているでしょうが、扶助協会でもMIAでも系図でも同じことです。とくに受賞計画などは他人のことだなどと考えずに、あなた自身のためだと、よく説明することができるよう、みんなで勉強しましょう。

図 書 案 内

教義と聖約	上質革製合本	
高価なる真珠	一・一〇〇円	
モルモン経		
教義と聖約	合本	三〇〇円
高価なる真珠		
モルモン経(新約)		三〇〇円
信仰箇条の研究		三三〇円
基督・イエス		三〇〇円
末日聖徒イエス・キリスト教会略史		一〇〇円
モルモンとは(新版)		一五〇円
総合聖句の手引		一五〇円
メルケゼデク神権、教師と生徒用		
モルモン経の読み方と手引		二二〇円
アロン神権者用学科課程		一五〇円
神の王国		二二〇円
アロン神権者用手引		一〇〇円
アロン神権のなかの祭司		一八〇円
回復された神の教会		一〇〇円
神と人		二〇〇円
家庭に於ける神権の発揚		一五〇円
モルモン経の新研究		三三〇円
日本系図探求要覧		一五〇円
扶助協会手引		一五〇円
求道者教育法		一二〇円
道は開ける		四五〇円

日曜学校用

モルモン経物語	一五〇円
旧約聖書物語	一五〇円
福音の実践	二〇〇円
我等の標準聖典	二〇〇円
古代の使徒	一五〇円
教義と聖約の教え	二〇〇円
福音の紹介	一〇〇円
完成への道	一〇〇円
宗教生活	一五〇円
奇しきみわざ上巻・下巻	各二〇〇円
家督権の祝福	一〇〇円
家族の昇栄	二〇〇円
シオン山の救い手たち	二〇〇円
レッスンの手引	六〇円
M I A 用	
M I Aの手引	一二〇円
我らは信じる	二〇〇円
我らは生きる	一二〇円
我らは奉仕する(66年度テキスト)	一五〇円
素晴しき考え(66年度テキスト)	二〇〇円
生活の目標	一五〇円
今日の十誡	二五〇円

エンサインローレルの手引……………一五〇円
 演説が上手になる法……………一五〇円

ロールブック

M I A……………一〇〇円
 扶助協会……………一〇〇円

讃美歌及び歌集

末日聖徒讃美歌集(新版)……………四〇〇円
 リクリエーション歌集……………四〇〇円

その他ブックカバーなど

モルモン経カバー……………二〇〇円
 教義と聖約カバー……………二〇〇円
 合本カバー……………二〇〇円
 信仰箇条の研究用カバー……………二〇〇円
 聖餐カップ(一箱)……………二五〇円
 聖餐クロス(一セット)……………三二〇〇円
 ブレッドトレイ……………一三七五円
 ウォータートレイ……………二七五〇円
 LDS バッジ……………一〇〇円

図書の購入は支部長会に申し出てください

聖徒の道は

私たちが真理を知る「てだて」であり

私たちの心と心がかよう道です

あなたの霊の進歩のために

あなたの信仰のかてのために

お役に立つ本であればと思います

支部所在地

北海道地方部

- 旭川 旭川市8条5丁目
MIA集会所 旭川公会堂
電話 (2-1545)
- 室蘭 室蘭市幸町89
電話 (7054)
- 小樽 小樽市富岡町1ノ35
電話 (2-8224)
- 札幌 札幌市北2条西24丁目
電話 (63-7866)

東中央地方部

- 群馬 高崎市並榎町275
電話 (2-7121)
- 甲府 甲府市中央3丁目12-2
松本 松本市開智1ノ1ノ6
新潟 新潟市中大畑町557
電話 (2-8660)
- 仙台 仙台市光禪寺通り28
電話 (25-0897)
- 東京中央 東京都港区青山北町6ノ34
電話 (408-3307)
- 東京北 東京都中野区江原町1ノ8ノ14
電話 (952-1531)
- 東京東 東京都江戸川区西小岩5ノ8ノ6
電話 (657-5223)
- 東京南 東京都大田区南千束町249
電話 (729-6311)
- 東京西 東京都武蔵野市吉祥寺東町1ノ7ノ7
電話 (22-6764)
- 山形 山形市七日町4丁目12ノ23
横浜 横浜市港北区篠原町29
電話 (49-8772)

西中央地方部

- 阿倍野 大阪市阿倍野区阪南町中1ノ38
電話 (623-4315)
- 福岡 福岡市浄水町46
電話 (52-8653)
- 広島 広島市古田町古江400ノ3
電話 (31-6135)
- 金沢 金沢市兼六元町3ノ8
電話 (21-2131)
- 京都 京都市左京区下鴨松原町44
名古屋 名古屋市昭和区北山町3ノ41
電話 (73-4210)
- 西ノ宮 兵庫県西ノ宮市仁川町4ノ54
電話 (5-0141)
- 岡町 大阪府豊中市岡町北2ノ18
電話 (52-1236)
- 岡山 岡山市学南町1ノ13ノ11
三ノ宮 神戸市灘区篠原本町4ノ35
電話 (86-2602)
- 柳井 山口市柳井市今市391

沖縄地方部

- 普天間 沖縄宜野湾市野嶺区328
那覇 沖縄那覇市崇元寺町1-128-20
電話 (8-6568)

- 建築部事務所 東京都港区青山北町6ノ34
電話 (402-4010)

(誤りのある支部の支部長はご一報ください)

聖徒の道

一九六六年六月一日発行

振替口座 東京一六二二六番

発行人兼編集人 アドニー・Y・小松

発行所 東京都港区南麻布五丁目八番十
末日聖徒イエス・キリスト教会

印刷所 合名会社三五堂

定価八十円

一年予約八百四十円(申込は支部長まで)